

年頭あいさつ

令和7年の新春を迎え、皆さまに謹んで新年のご挨拶を申し上げます。令和6年の能登半島地震により被害に遭われた皆さまに、改めてお見舞い申し上げます。同時に、被災地の皆さまの一日も早い復興を心からお祈りいたします。

さて、昨年を振り返り、まずと、国内経済の正常

組合組織の安定使命

の上昇は大きな影響を及ぼし、カキやホタテなどの二枚貝、ノリやワカメなどの海藻類やギンザケ水産物においても例外ではなく、先行きが懸念されております。

そのような中、当組合は、漁業金融機能を強化し、組合員の負担に配慮する信用事業の構築と漁業経営のさらなる向上を目指す。令和6年4月1日付で「東日本信用漁業協同組合連合会」に信用事業の全部を譲渡した

の主力となる養殖魚種の大量へい死や漁船漁業の不漁などもたらした。これを機に、これまで以上に経済事業の発展振興に精力を傾注し、事業の充実を図り、皆さまの信頼に応え、漁業と地域社会が発展していけるよう新たな一歩を踏み出しております。

これからは系統団体や行政機関との連携を重視し、「組合員の生活向上、漁村地域の永続」と「消費者の皆さまに安全・安心な水産物の提供」、そして「組合経営の安定」を使命とし、役員一丸となり鋭意事業活動に取り組んでまいりますので、皆さまにはご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、新たな1年が災害のない平穏な年になることをご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



代表理事組合長 寺沢春彦

支援体制の充実を図る 海況変化へ対応急務

奥田一也常務理事に聞く

地球温暖化を背景とした海況変化は、とりわけ漁船漁業に深刻な影響を及ぼしている。対応策や今後の方向性について、

指導事業を担当する奥田一也常務理事に聞いた。

——主要魚種の不漁が続く中、本県の漁船漁業をめぐる現状と対策は。



「秋サケ、春漁のイサダ、コウナゴ、サシマやスルメイカも著しい不漁に見舞われている一方、タチウオやトラフグな

「新たな操業体制への転換や対策については、漁場の概要や地域特性、経営状況など課題を整理して具体的な対策を模索している。魚種転換を進める上では漁具購入など金銭的な負担も必要となる

「魚種の転換や、それに合わせた漁業者へのサポートはあるのか。」

「新たな操業体制への転換や対策については、漁場の概要や地域特性、経営状況など課題を整理して具体的な対策を模索している。魚種転換を進める上では漁具購入など金銭的な負担も必要となる

「魚種が変化する中で、魚価向上、消費普及への方策については、「魚種が変わる中、『金華さば』のような新

「変革の中、将来に向けた課題としては、「漁業の担い手育成は継続して取り組まなければならない問題だ。2007年の合併時に1方人を超えていた組合員数が、当時から4割近く減

「毎年のことだが、豊漁を願ってやまない。組合員の皆さんがけががなく、笑顔で漁業に従事できるよう、そのためにわれわれもさまざまなサポートをしていく覚悟だ」



鈴木信悦部会長

「東北漁業リ・スタート募金自販機」を通じて支援継続を周知した。同社東北営業部の高野裕一部長は「漁業者の皆さんの新しい活動を少しでも応援できた」と話す。

長年の功労たたえ 3氏に全漁連表彰



千葉富夫氏



鈴木章登氏



豊嶋祐二氏

全漁連の今年度漁協系統功労者表彰式が昨年11月20日、東京都千代田区如清水会館で開かれ、当第39回漁協運動功労者組合から選ばれた3氏ら長年の取り組みと栄誉をたたえた。

乾のり 鹽竈神社奉獻品評会 優賞は赤間氏2年連続 準は鹿野氏が受賞



「献上のり」の栄誉に輝いた赤間氏(右)と鹿野氏(1月11日)と準優賞(塩竈市長)の鹿野拓洋氏(鳴瀬支所)に賞状とカップなどが贈られた。

品評会は同6日、同神社で開催。当組合10支所から91点が出品され、色や重さなどを審査した。入賞作は8つの賞で計60点。審査委員長を務めた泉仙台地方振興事務所水産漁港部の永倉一徳部長は「どのノリも高品質で、海洋環境の変化が大きい中、生産者の技術とたゆまぬ努力の成果」とたたえた。優賞と準優賞の乾のりは1月下旬〜2月上旬をめどに皇室に献上される。

品質良く高値 県産乾のり入札

県産乾のりの今季入札は昨年11月26日に始まり、12月25日までの計4回で約5145万枚(前年同期比11%減)が販売され、販売額は約14億5381万円(同33%増、1枚当たりの平均単価は28円26銭(同50%高)。

本所のり部会の鈴木信悦部会長は初入札会で

「異常気象の厳しい環境の中、生産者の努力のおかげで良いノリができつつとっている。風味豊かで歯切れの良い『みちのく寒流のり』を味わってほしい」とPRした。入札会は5月初旬まで計14回予定されている。

初入札会場で、飲料メーカーのタイドドリ(株)が缶コーヒードリを無償提供するブースも目見え。同社は東日本大震災で被害を受けた宮城、岩手、福島3県の漁業を支援するため「東北復興絆義援金自販機」を立ち上げ、売り上げの10%(1本当たり10円)を各県漁協に寄付しており、新たに「東北漁業リ・スタート募金自販機」を通じて支援継続を周知した。同社東北営業部の高野裕一部長は「漁業者の皆さんの新しい活動を少しでも応援できた」と話す。

に宮戸支所運営委員会委員長の千葉富夫氏(68)、第7回漁業振興功績者に唐桑支所運営委員会委員長・監事の鈴木章登氏(69)、前宮城県小型漁船漁業部会長で石巻地区支所わかめ部会長の豊嶋祐二氏(72)が輝いた。

したノリが評価されうれし」と喜んだ。

賞、式等賞と技術賞は次の通り(かっこ内は所属支所・地区、敬称略)。

壱等賞 手代木浩二(鳴瀬支所)

貳等賞 鹿野拓洋(鳴瀬支所)

参等賞 鹿野拓洋(鳴瀬支所)

技術賞 小野裕俊(宮戸西部) 相澤太(矢本) 門馬雅則(宮戸) 相澤幸典(七ヶ浜・代ヶ崎浜) 瀬戸博之(同・東宮浜)

井健太(同) 齋藤吉勝(七ヶ浜・代ヶ崎浜)

技術賞 小野裕俊(宮戸西部) 相澤太(矢本) 門馬雅則(宮戸) 相澤幸典(七ヶ浜・代ヶ崎浜) 瀬戸博之(同・東宮浜)

(鳴瀬)手代木千年(同) 大町昭(七ヶ浜) 松ヶ浜 湊 近伊丹幸一(同) 葛浦田 近石森圭太(同) 代ヶ崎 近 佐藤正美(同) 栗田 式等賞 熊谷義宏(鳴瀬) 菊地幹彦(仙南巨理) 津田雅彦(同) 穴戸 敏浩(同) 菊地裕丈(同) 津田大(矢本) 櫻

海の子の思い作文に 力作ぞろい、27人表彰

女性連

宮城県漁協女性部連絡協議会(三浦弘子会長)主催の第40回「みやぎの海の子」作文の表彰式が1月6日、石巻グラウンドホテルで開かれ、県内24校・合計138点の応募の中から入賞した小中学生27人に賞状と記念の盾を贈った。三浦会長(歌津支所)は「懸命に働く家族への感謝や、漁業の手伝いを通して自分の将来を考える作品、環境を守りたい思いなど、どれも魅力的な作品だった」と講評。第一部(小学1〜3年)、第二部(小学4〜6年)、第三部(中学生)の各部門で最高賞の県知事賞に輝いた3人が作品を朗読した。

岸心乃葉さん(南三陸町立歌津中学校1年)は「豊かな海のそばで暮らす日常やシノーケリングで潜る海中のきれいな情景など『海が好き』という思いをつづった。『で

第40回「みやぎの海の子」作文入賞者

部	賞	氏名	学校名	学年
第一部	知事賞	小野寺一華	気仙沼市立唐桑小学校	2年
	県知事賞	相澤 祐平	石巻市立鹿野小学校	3年
	漁協賞	須藤 怜	南三陸町立戸倉小学校	1年
	漁協賞	須藤 愛	石巻市立香崎小学校	1年
	漁協賞	須藤 悠仁	石巻市立鹿野小学校	2年
	漁協賞	熊谷 志温	気仙沼市立松岩小学校	2年
	漁協賞	高須 大和	気仙沼市立大島小学校	3年
	漁協賞	星 しのり	南三陸町立戸倉小学校	1年
	漁協賞	星 しのり	南三陸町立戸倉小学校	3年
	漁協賞	星 しのり	南三陸町立戸倉小学校	6年
第二部	知事賞	佐藤 芽依	気仙沼市立松岩小学校	6年
	県知事賞	田中 里歩	南三陸町立志津川小学校	4年
	漁協賞	村上 暖	気仙沼市立唐桑小学校	6年
	漁協賞	及川 心	南三陸町立名足小学校	6年
	漁協賞	佐々木美心	南三陸町立戸倉小学校	6年
	漁協賞	伊藤友美	七ヶ浜町立汐見小学校	6年
	漁協賞	横山 結愛	石巻市立大原小学校	4年
	漁協賞	菅原 楓	南三陸町立志津川小学校	6年
	漁協賞	岸心乃葉	南三陸町立歌津中学校	1年
	漁協賞	藤原 里愛	南三陸町立志津川中学校	2年
第三部	知事賞	森 慈恩	南三陸町立志津川中学校	3年
	県知事賞	小山 龍馬	気仙沼市立唐桑中学校	3年
	漁協賞	須藤 瑞葵	南三陸町立志津川中学校	1年
	漁協賞	伊藤 友彩	気仙沼市立松岩中学校	3年
	漁協賞	近江 卓雄	南三陸町立志津川中学校	2年
	漁協賞	佐藤 空	南三陸町立歌津中学校	3年
	漁協賞	村上 佳汰	気仙沼市立唐折中学校	2年
	漁協賞	村上 佳汰	気仙沼市立唐折中学校	2年

もそんな海水浴をしたり、海産物を獲ったり食べたりする日常はこれから先も続いているだろうか」とこみ投棄など環境破壊、温暖化による海洋の変化に目を向け、「豊かな自然を守り続けていく素晴らしい世界になりますように」と願った。入賞作品は冊子にまとめられ、応募のあった学校や当組合の各支所などに配布される。

漁業を将来の選択肢に 小学生に初の出前授業

宮城県漁協青年部

子どもたちに漁業への関心を高めてもらうべく、当組合青年部の赤間拓哉部長(松島支所)、畠山政也副部長(唐桑支所)、宮澤康浩副部長(石巻地区支所)の役員3人が10月16日、石巻市大原浜の大原小学校で出前授業風景

子どもたちに漁業への関心を高めてもらうべく、当組合青年部の赤間拓哉部長(松島支所)、畠山政也副部長(唐桑支所)、宮澤康浩副部長(石巻地区支所)の役員3人が10月16日、石巻市大原浜の大原小学校で出前授業を行った。「魚食離れなど子どもたちが海に親しむ機会が減り、県青年部としても何かしたかった」と(畠山副部長)と以前から計画を温め、今回、初めて実現した。いずれもカキ養殖を営む3人は、12人の児童に対し実際にカキの原盤を触らせ、ロープワークに挑戦させたりと授業内容に工夫を凝らした。同小学校は海に近く、家族が漁業を営む児童も多かったが、「すぐ興味を持ってくれた。家に帰ったらお父さんにロープワークを見せると張り切ってる子もいて、うれしかった」と(赤間部長)。カキ養殖の仕組みや環境に配慮した取り組みなどを記

した「教科書」も自分たちで考え準備した。「漁師という仕事を将来の選択肢のひとつとして紹介できてよかった」と(宮澤副部長)。他魚種

の組合員の協力も得ながら今後も出前授業を行っていきたくとし、赤間部長は「海から遠い小学校にも訪問したい」と意欲を見せる。

こども食堂に食品寄贈 焼のり60袋、ホタテも

こんわ会

当組合とJAG宮城中央会、宮城県生活協同組合連合会、宮城県森林組合

連合会の4団体でつくる「宮城県協同組合こんわ会」は12月19日、任意団体「みやぎこども食堂ネットワーク」に県産品とめぼれの新米700kgな

を寄贈。仙台市泉区の「みやぎ生協文化会館」で贈呈式が行われた。写真。当組合は焼のり10枚入り600袋、冷凍ホタテ1kg入り20箱を寄贈。支援品を受け取った宮谷市のNPO法人ふうどぼんく東北AGAIN(あがいん)の富樫花奈副代表理事は「寄付などで運営されるこども食堂では海産物はなかなか手に入らないが、ホタテの豊富な豪華な物までいただける」と感謝。

三陸産の魅力発信 Fish1GPで栄冠

戸倉SeaBoys

国産水産物の消費拡大を目的とする料理コンテスト「第10回Fish1GP」が11月4日に東京都内で開催され、南三陸町戸倉地区の若手漁業者グループ「戸倉SeaBoys」が出品した「漁師考案 旨みたっぷりみやぎサーモンと牡蠣のバターピラフ」がグランプリに輝いた。

「海の変化など漁業者の皆さんの大変さも聞く中、支援いただき大変ありがたい」と続けた。同副代表によると、物価高騰により運営に影響を受けている団体は多いという。支援品はネットワークに加入する99団体のうち、希望する63団体に分配された。当組合本所指導部の土方規生次長は「組合として少しでも皆さんの助けになれば、いっぱい食べべて元気に過ごしてほしい」と話した。

協同組合論

北海学園大学
経済学部教授
濱田 武士

35



連載を振り返ると、70年ぶりの改革といわれた新漁業法の制定後、漁業権のことに一度も書いていませんでした。改訂漁業法の下で漁業権の切り替えがすでに行われたのに、です。今回は漁業権について触れてみたいと思います。

令和の漁業法では、定置漁業権と区画漁業権に関する免許制度が大きく変わりました。定置漁業権も区画漁業権にはかつての優先順位制度がなくなり、漁業権者が「適切かつ有効」に漁場を使っているかが問われるよう

になり、そうでない場合は「地域の水産業に最も寄与すると認められる者」に免許することになりました。そして、地方分権という考えに基づき、各県が免許するにふさわしい者に対する基準を設けることができるようになります。

「新漁業法」の本領発揮へ

漁業計画の段階で十分な調整が行われ、知事免許という公権力が強引に使われたり、乱用されたりしなかった、ということかと思えます。漁業権者に交代があったとしても、大きな紛争を回避でき

る範囲だったのかと思えます。かつて宮城県では、石巻市桃浦地区において区画漁業権免許を巡る紛争が生じました。いわゆる「水産特区」といわれたものです。平成25年に復

興特区法第14条に基づいては、近隣地区と桃浦地区で共有していた区画を割って、地元の管轄漁協支所という団体に免許するのではなく、合同会社法人に直接免許しました。それは県が補助金で

誘導して地元漁業者と外部企業に設立させたものです。復興特区法第14条は会社の地元出資構成などの条件を満たし、手続

に違反した場合は、特区的な背景には、特区法を国に強く要請した村

井知事の復興方針があり、法制化を国に実現させた以上、一つでも実現しないといけない。今後空いた漁場が増え、地域の水産業に最も寄与すると認められる者を入れていくという機会が増えると思えます。徐々に新漁業法の本領が発揮されます。そのとき漁協が漁場の管理者として役割を果たしているかが問われます。あらためて役員・職員・組合員との関係性を強め、県との連絡体制をつかりと構築し、目指す浜の姿を共有すべきかと思えます。



表彰を受ける戸倉SeaBoysの佐藤将人さん

「海の変化など漁業者の皆さんの大変さも聞く中、支援いただき大変ありがたい」と続けた。同副代表によると、物価高騰により運営に影響を受けている団体は多いという。支援品はネットワークに加入する99団体のうち、希望する63団体に分配された。当組合本所指導部の土方規生次長は「組合として少しでも皆さんの助けになれば、いっぱい食べべて元気に過ごしてほしい」と話した。

組合からのお知らせ 指導部共済課

生活総合共済

生活総合共済「くらし」は貯蓄をしながら建物や家財などを火災や自然災害から守るあんしん生活総合共済です。最近、過去に経験したことのない自然災害が地球規模で増加しています。日本でも台風や豪雨による被害だけでなく、地震による被害が全国至るところで発生し、また、突風や竜巻による被害も増えてきています。

生活総合共済「くらし」が補償する物件は「住宅物件」と「一般物件」の2つがあります。住宅物件: 専ら居住を目的としている建物とその建物に収容されている家財等をいいます。一般物件: 住宅物件に該当しない建物とその建物に収容されている家財等をいいます。



建物や家財、倉庫内の漁業資材等の万一の火災に対する備えは万全ですか？

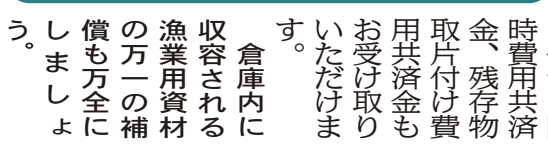
こうした現状を考慮し、JF共済は「風災・ひょう災・雪災補償の拡充」「水害補償の拡充」「地震補償の拡充」などを図ることで、自然災害による被害に対し、万一の際に安心できる共済の役割を果たすべく、組合員の皆さまの暮らしに貢献することを目指しています。

火災共済 カサイ

住宅や倉庫、建物に収容される家財などが火災、落雷、破裂、爆発などで損害を受けた場合に共済金をお受け取りいただける、掛け捨て型の補償です。一年更新の短期共済ですので、お手頃な掛け金で大切な財産を補償します。

火災等で損害を受けた場合に、火災共済金に併せて臨時費用共済金、残存物取片付け費用共済金もお受け取りいただけます。倉庫内に収容される漁業用資材の万一の補償も万全にしましょう。

「自家用漁業資材」一式 倉庫などに収容される。漁業者が自ら漁業を営む上で使用する漁具類で、所有者個人が自家のために使用するものです。



石巻地区支所 宮澤康浩さん(38)

事柄、父もずっと兼業漁家としてやってきたため、康浩さんも加工場で働きながら力キ養殖を手伝っていた。そして2、3年がたった頃、あの震災に遭った。加工場は被災して職場を失い、途方に暮れている時、市の臨時職員の時、市の臨時職員の時、市の臨時職員の時...

地域に根差し、着実に

父の代から力キ養殖をしてきた。康浩さん自身は地元で就職後、静岡県浜松市で半導体の仕事をしてきたが、父親の辛さを知り腕を骨折するけがをしたため、家の仕事を手伝うことになった。家業を継ぐつもりはもともとあったが、不安定な仕事で不安定な収入で、不安定な収入で、不安定な収入で...

青年部活動は自分の仕事にも非常に役に立ったという。先輩たちに仕事のことや相談でき、漁師の知り合いも増えていった。各地のイベントで力キのPRにも力を入れている。現在は県青年部の副部長でもある。どの浜も海水温の上昇...

今までの2年子を出荷するのをメインとしてきたが、このところの高水温で夏を越すことが困難となり、数年前から秋狭みを試みている。広島や三重など南方の生産地の話も聞きに行き、青年部でも、高水温に強い、シリングルシードの新しい養殖方法を今年にも試験してみようと計画している。地元に戻ってから十数年、毎年少しずつだが生...

産規模を増やしてきた。父の引退後も考えると、継続的な人手の確保もほしいところ。規模を縮小しないように、できる範囲で、ゆっくり着実にやっていたい」と話す。今年には新造船も予定し、飛躍の年となりそうだ。今シーズンの力キはなかなかの出来だと胸をなで下ろす。万石浦は高水温に弱い一方、育成場所としては非常に優秀だ。今シーズンは秋狭みからむき始めた。2年子に比べると若干小さめではあるものの、11月には、沖で育てたら年明けまでかかるだろうというような身入りにまでなっていた。ふりふりとして味が濃く、おいしい笑顔を見せる。



気仙沼地区支所 三浦一樹さん(25)

三浦一樹さんは地元の気仙沼向洋高校情報海洋科で学び、卒業後4年間、故郷を離れ鳥取県境港で近海巻き網船に乗っていた。父の秋浩さんは長年小型船の乗組員としてサンマ、イサダなどを獲ったマ、メカジキの突きん棒漁、6〜8月はメカジキの突きん棒漁、5〜7月からはタコかき漁。そんな父の背中を見て育ち、一樹さんも小さな頃から漁業に携わりたいと思いつい進路を海に定めていたという。

父子あうんの呼吸で

一樹さんは父とは別に組合員資格を取り、気仙沼地区支所の組合員の中でダントツの若手だ。階上青年部千尋(ちひら)の会にも所属し、地元小学校のワカメ養殖の体からこの漁ができてい。一樹さんは父とは別に組合員資格を取り、気仙沼地区支所の組合員の中でダントツの若手だ。階上青年部千尋(ちひら)の会にも所属し、地元小学校のワカメ養殖の体からこの漁ができてい。

この先の海を見据えて資源管理にももちろん気を配り、今日も2人、息を合わせて船を出している。この先の海を見据えて資源管理にももちろん気を配り、今日も2人、息を合わせて船を出している。

「大きなことを考えるより、今までやってきたことをやって食べていくことの方が一番」と一樹さん。海の温暖化とともに獲れなくなった魚種もあるなど漁船漁業は年々厳しさを増す一面もある。しかし海の変化に合わせ、日々勉強し新しいことも取り入れながら、父子2人、その時獲れる魚、単価のいい魚を工夫して獲り、1年のサイクルを上手に回している。

「時に厳しいけれど気持ちは楽」と一樹さんは笑顔を見せる。秋浩さんも、頼れる息子がいてくれるからこの漁ができてい。一樹さんは父とは別に組合員資格を取り、気仙沼地区支所の組合員の中でダントツの若手だ。階上青年部千尋(ちひら)の会にも所属し、地元小学校のワカメ養殖の体からこの漁ができてい。

「時に厳しいけれど気持ちは楽」と一樹さんは笑顔を見せる。秋浩さんも、頼れる息子がいてくれるからこの漁ができてい。一樹さんは父とは別に組合員資格を取り、気仙沼地区支所の組合員の中でダントツの若手だ。階上青年部千尋(ちひら)の会にも所属し、地元小学校のワカメ養殖の体からこの漁ができてい。

成長産業へまた一歩 新・陸上養殖研究棟

県水産技術総合センター

海水温の上昇で養殖生
産物の需要が高まる中、

宮城県が県水産技術総合



大小27基の水槽が並ぶ閉鎖循環式陸上養殖研究棟

センター(石巻市渡波敷地内に昨年新設した「陸上養殖研究棟」で活発な研究が進んでいる。現在は主力魚種のギンザケとイワナの成長促進や採卵の試験を行い、完全養殖や種苗生産技術の確立を目指す。得られた知見や技術を積極的に民間に提供し、県内養殖業の成長産業化を推進していく。研究棟は4月に完成、総事業費は約9億4800万円。木造平屋建てで、稚魚用の小型水槽から親魚の飼育に対応した中々大型水槽まで計27基を配置する。ろ過システムを用いて飼育水を再利用する閉鎖循環式で、淡水と海水の両方に対応し、水温や塩分濃度の調節も可能。さまざまな状況下での試験を通し、コスト面でも効率の良い養殖技術の確立を目指す。現在取り進む試験のひと

つが「ギンザケの淡水への逆馴致(じゅんち)および採卵試験」で、自然環境下でのギンザケは河川で産卵・ふ化し、海で大きく成長、再び河川をそそ上し産卵することから、陸上で海水飼育し大きく成長した親魚を淡水で成熟・採卵する方法を検証する。

武川淳司 主任研究員は「将来的に浜の近くで種苗を生産し、海の養殖に投入するサイクルが可能となれば漁業者のメリットとなり得る」と研究の進展を見据え「漁業者も気軽に見学に来て、研究の成功例、失敗例を養殖の参考にしてもらえれば」と話す。

稚魚出荷スタート

ギンザケ 例年より1カ月遅く

県産養殖ギンザケの稚魚出荷が12月2日、例年より約1カ月遅れて始まった。宮城・岩手の山あいの養魚場で丹精込めて育てられた稚魚が次々と生産地へ運ばれた。

待ちに待った初出荷

鮮力キ 身質よく高値スタート

そのひとつ、南三陸町志津川の戸倉地区では、1尾2000g前後で今季合計130トン(約65万尾)の稚魚を海面いけすに放流する予定で、1560トンの生産を目標とする。

当組合は10月28日、今季の県産食用むき身力キの出荷を開始した。高水温の影響により成育が遅れ、県の指針より1カ月ほど遅れての出荷開始となったが、本所かき部会の阿部輝喜部会長は「心配する気持ちも大きかったが、出荷日を迎えられてほっとしている」と安堵(あんど)の表情。「安全安心、おいしい」と思ってもらえるような力

キができています。海水温の低下とともに、もっとおいしい宮城の力キになる」と自信を見せた。初入札会での10kg当たりの平均単価は4万2376円。前年同期に比べ37%



出荷された稚魚を海へ運ぶ志津川支所・戸倉地区の組合員



阿部輝喜部会長



仙台市中央卸売市場で開催された出荷スタートイベント(10月31日)

ホタテ支援の恩返し 畜産業を「食べて応援」

仙台牛共同購入

飼料価格の高止まりや物価高騰による消費低迷に苦しむ畜産農家を応援しよう、当組合の役職



J A宮城中央会の佐野会長(左)から仙台牛商品を受け取る寺沢組合員

高のスタートとなった。10月31日には当組合と(株)仙台海産、仙台あおば青果(株)が共催し、仙台卸売市場で、市場関係者や小売店、消費者らに県産力キのPRイベントを開催。生力キの商品展示の

ほか、「かき焼うどん」や「かきグラタン」などのお薦めメニューが紹介され、試食コーナーでは力キと大根のみそ汁やかきフライが買受人らに振る舞われ好評を博した。

ニューフェイス 「よろしくお願ひします！」

新たに4人の職員が加わり、各部署で日々健闘しながら仕事を覚えています。それぞれの抱負を語ってもらいました。どうぞ、声をかけてください。

誠心誠意耳を傾けて 鈴木みか 塩釜総合支所 (すずき・みか=31、七ヶ浜町)

私は組合員の方々に信頼されるような職員になりたいと思います。そのためには相手の話に耳を傾けて相手が一番に求めているものを導き出しながらサポート等を行う日々の対応を丁寧かつ迅速に行えるように心掛けて誠心誠意頑張っていきたいと考えております。組合員の方々にあなたに頼んでよかった、またあなたにお願いしたいと思われるような信頼される職員になれるよう一生懸命頑張っていきたいと思ひます。

会話を大事に自覚持ち 若山幸平 石巻市東部支所 (わかやま・こうへい=34、大崎市)

組合員さん方に信頼され、頼られる職員になりたいです。そのために、組合員さんとのコミュニケーションを大切にしたいです。私自身釣りが趣味で、魚についての会話や元気にあいさつをする事を大切に、1日も早く皆さんに知っていただけるよう、日々の業務をミスなく早く進められるよう、いろいろな経験や知識を学びそれを生かし、与えられた仕事を全力で行い、積極的に行動し、常に職員としての自覚を持ち業務をします。

関係と信頼を深めて 千葉雄介 気仙沼地区支所 (ちば・ゆうすけ=37、南三陸町)

私は漁業者と寄り添いより良い町にできるような職員になりたいと思ひます。近年の海水温上昇などでさまざまな問題がありますが、漁業者の方々の関係を深め、日々の職務を通して信頼されるように、先輩方や漁業者の方からさまざまな事を学んで、安心して仕事を任せてもらえるような立派な職員になれるように一生懸命努めていきたいと思います。

誠実に仕事に取り組む 遠藤悠馬 塩釜総合支所 (えんどう・ゆうま=28、石巻市)

私は常に明るく、何事にも意欲的に取り組む職員になりたいです。地域の漁業に関わるものとして、漁業を支え、また漁業者の方々に信頼していただけるよう誠実に仕事に取り組んでいきたいと思います。支所の先輩方のお役に立てるように、そして漁業者の方々に貢献できるように、何事にも積極的に取り組みたいです。まだまだ未熟ですがこれから学ぶすべてを吸収し、一生懸命に頑張り、信頼される職員になりたいと思ひます。

宮城県海産物調整委員会指示による公的規制が発動されています。
委員会指示期間 令和6年12月1日から令和7年4月30日まで

水産動植物の保護区域4ヶ所を 仙台湾に設定

漁業者も遊漁者も全ての人が令和6年12月1日から令和7年4月30日まで下記の4ヶ所の保護区域で、
すべての魚を獲ることができません。資源保護にご協力をお願いします。

保護区域の基点

区域	世界海産物	東洋	北境	日本海産物	
保護区 A	ア	38度16.90分	141度13.10分	38度16.72分	141度13.31分
	イ	38度16.60分	141度14.36分	38度16.42分	141度14.57分
保護区 B	ア	38度15.63分	141度14.00分	38度15.45分	141度14.21分
	イ	38度15.90分	141度12.80分	38度15.72分	141度13.01分
保護区 C	ア	38度11.89分	141度13.86分	38度11.71分	141度14.07分
	イ	38度11.40分	141度15.62分	38度11.22分	141度15.83分
保護区 D	ア	38度10.47分	141度15.29分	38度10.29分	141度15.50分
	イ	37度58.79分	141度13.48分	38度10.29分	141度13.69分
保護区 E	ア	37度53.79分	141度07.29分	37度53.61分	141度07.50分
	イ	37度53.79分	141度04.76分	37度53.61分	141度04.97分
保護区 F	ア	38度15.80分	141度16.21分	38度15.62分	141度16.42分
	イ	37度55.79分	141度06.61分	37度55.61分	141度06.82分
保護区 G	ア	38度18.68分	141度15.60分	38度18.40分	141度15.81分
	イ	38度17.38分	141度17.49分	38度17.20分	141度17.70分
保護区 H	ア	38度15.80分	141度16.21分	38度15.62分	141度16.42分
	イ	38度16.98分	141度14.21分	38度16.80分	141度14.42分

※1~2海里四方を保護区域とする。

漁業者はこれらの魚について、漁獲禁止・再放流等を実施しております。

- ヒラメ... 北部地区300m未満、中部地区350m未満
- マコガレイ... 北部地区200m未満、中部地区力レイ網目自守4寸以上使用
- アサギ... 北部地区250m未満
- マアナゴ... 全域下300m未満

小型魚の保護に、遊漁者のみなさんも協力お願いします。

JFみやぎ 宮城県資源管理型漁業実践協議会
TEL 0225-21-5740

い」と説明。JA宮城中央会の佐野和夫会長は「畜産農家は大変厳しい状況にあり、このような取り組みをしていただき取り組みがたい。今後お互いに助け合っていく」と感謝した。